

平成31年3月18日

三次市長 増田 和俊 様

三次市行財政改革推進審議委員会  
会 長 橋 本 康 男

三次市行財政改革大綱（案）について（提言）

当審議委員会は、事務局から提出された行財政改革大綱の原案について、「三次市行財政改革基本理念（透明・参加・選択）」を踏まえて協議を重ねてきました。

その結果、別添の行財政改革大綱（案）は、当審議委員会での議論が反映されており、「三次市の未来を市民と拓く、共感力と変革力ある行政」をめざす行財政改革大綱として適当であるとの合意に至りましたので、ここに報告いたします。

全国的に人口減少が進む中で、三次市が中国地方の十字路としての可能性を生かし、地域の魅力を引き出し未来の三次市民によりよい地域を引き継ぐためには、市民と行政が力を合わせて新たな変化を生み出していくことが大切です。

若者にとって魅力があり子育てしたくなる地域づくり，女性が活躍でき高齢者が生き生きと活動し安心して暮らせる地域づくり，三次市の拠点性を活かした活力ある地域づくりなど，人々を呼び寄せ応援する地域づくりは急務と考えます。

三次市行政には、市民の力を活かし市民と共に三次市の未来を切り拓く行動する組織づくりと、安定した財政運営が求められています。

また、地域の未来を市民との対話を通じて描き、その実現のための市民の取り組みを応援し、市民と共に実現していく行動力が不可欠です。

三次市長におかれては、新たな行財政改革大綱に基づき、市民と共に行動するスリムでフットワークの良い信頼される行政の実現をめざし、三次市の未来へのリーダーシップを発揮し大胆に改革に取り組んでいただきたいと思います。

この行財政改革大綱をもとに、夢と誇りの持てる三次市の地域づくりを支える行財政改革がさらに進んでいくことを期待しています。

【三次市行財政改革推進審議委員会】

会 長	橋本	康男	委 員	小川	治孝
副会長	堀江	斎	委 員	安藤	由子
委 員	平岡	淳	委 員	法林	暁美
委 員	富野井	利弘	委 員	藤田	雅子
委 員	町野	崇夫	委 員	村山	朋子
委 員	岸田	立	委 員	早川	安明
委 員	新宅	悦子			